

令和7年度 第1回福井市地域生活交通活性化会議 議事要旨

日時	令和7年6月30日(月) 10:00~11:30
場所	福井市郷土歴史博物館 2階講堂
議題	別添「次第」の通り
出席者	別添「委員名簿」の通り
	<p>2 議事</p> <p>議案1：清水地域バスの運行計画変更について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>会長 通行止めの解除時期が早まった場合、その時点で路線を切り替える(元に戻す)前提という考えでよいか。</p> <p>事務局 その通りである。</p> <p style="text-align: center;">原案のとおり承認</p> <p>議案2：東郷地域コミュニティバスの運行計画変更について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>委員 運転士の休憩時間の確保のために第1便の出発時間を早めるということだが、第1便のトータルの所要時間は変わっていないことは問題ないか。もう一つ、新設する2つの停留所を追加した後も、次の「上毘沙門公民館」停留所の時刻に変更がないが、問題ないか。地図上では迂回して時間がかかるようにも見えるのだが。</p> <p>事務局 一つ目は、第1便と第2便の間の時間を10分から15分に5分伸ばすことで、運転士の休憩時間を確保する。 二つ目は、事業者が試走して問題ないことを確認している。</p> <p style="text-align: center;">原案のとおり承認</p> <p>議案3：南東地区フルデマンドタクシーの停留所新設について (資料に基づき、京福バスより説明)</p> <p>会長 こちらの施設にはトラックが出入りすることも考えられそうである。停留所として安全面が気になるが、確認しているか。</p> <p>京福バス 確認できていないため、確認する。</p>

事務局	<p>地元の自治会長から、この場所を停留所にしてほしいと話があった。地元は安全な場所と認識していると、事務局として考えている。</p>
会長	<p>安全面について、事務局から再度確認してほしい。</p> <p>原案のとおり承認</p>
	<p>報告 1：森田地域コミュニティバスの運行計画変更について (資料に基づき、事務局より説明)</p>
委員	<p>車両は36人乗りのバスを使っているが、もう少しコンパクトな車両に変更することもできるのか。</p>
事務局	<p>運行協議会や運行事業者と協議していく中で、変更が必要となれば考えていきたい。</p>
会長	<p>新たに運休日となる日について、過去の利用状況は確認できているか。</p>
事務局	<p>年平均で1便あたり7人くらいのところ、今回運休日とする日は1便あたり1人から2人となっており、利用者が少ない状況である。</p>
	<p>報告 2：中部運輸局二次評価結果について (資料に基づき、事務局より説明)</p>
委員	<p>「地域の多様な輸送資源を活用し支援」とあるが、具体的にどのようなことか説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>二つあり、一つは高須町自治会において、高齢者の足の確保として、市の車両を使い、住民主体の輸送活動を行っており、そちらを支援している。 二つ目は、安居地区において、毎週1回、お買い物足の確保として、地区にある高齢者施設の車両を活用し、住民主体の輸送活動を行っており、市は燃料費を支援している。</p>
委員	<p>自動車学校の送迎バスや、スイミングスクールの送迎バスなども考えられると思うが、状況はいかがか。</p>
事務局	<p>自動車学校の送迎バスの活用については、昨年、いくつかの自動車学校に話をしたが、予約アプリなどの課題もあり、今は難しいということであった。 高齢者施設の車両の活用についても、市内の施設に協力をお願いするメール</p>

事務局	<p>を送ったが、今のところはまだない状況である。 今後も機会をみて話をしていきたいと考えている。</p>
会長	<p>送迎バスの活用は全国でも事例がある。路線バスと重複しないよう調整しながら対応している。</p>
	<p>報告3：未来へつなげるバス路線最適化実証事業について （資料に基づき、事務局より説明）</p>
委員	<p>私の住む殿下地区に関わるバス路線は色々あるのだが、学生しか乗れないものがあったり、福祉輸送だったり、どのバスに乗っていいのか悪いのか分からない。一般の人も柔軟に使えるような工夫は考えられないか。 また、WEB サイトを探してもどこを見ればいいのか分からず、地元事業者の立場で、観光客への交通手段をどのように紹介してよいか分からない。</p>
事務局	<p>今回の事業では、色々な交通が輻輳している状況を整理していくことによって、削減できたコストや人的資源を、利用頻度の高いところに充てていくながら、市全体の交通を見直していきたいと考えている。 また、分かりやすさについては、交通事業者とも話し合いながら、改善していきたい。</p>
委員	<p>私たちの団体では、ふくいのにのりマップを20数年に渡り、作っている。これは、バス交通がビジュアル的に分かりにくいので、線を引いて、知ってもらい、気づきのために作った。当時は、乗り換えをすれば目的地まで行けたが、今は行けなくなっている。この事業を実りあるものにしてほしい。</p>
委員	<p>二点質問だが、まず、(3)の再編案の検討のところ、市の公共交通計画との関係はどのようになっているか。最終的に、この事業の結果を計画の見直しに反映させるのか。 二点目は、(6)実施体制のところ、福井市地域生活交通活性化会議を実施主体とするとなっているが、(5)スケジュール(案)をみても、どのタイミングでこの会議が関わることになるか分からないので、スケジュールが決まっていれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>一点目は、反映させていきたいと考えている。 二点目については、節目節目で、委員への報告や協議を考えている。</p>
会長	<p>今は国の補助金の交付待ちで、具体的に動けない状況にある。動ける状況になれば、具体的なスケジュールも示されると考える。</p>

委員	事業対象は、市全域なのか。想定している地域があるのか。
事務局	現状分析は市全域を考えている。実証実験を行う地域は、分析結果を踏まえて、地域を選定していきたいと考えている。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 4：令和 6 年度市町内交通分析シートの作成について</div> (資料に基づき、事務局より説明)
委員	分析シートの作成対象となっている路線となっていない路線をもう少し詳しく説明してほしい。
事務局	市内のバス路線で、市で補助している路線について作成している。事業者の自主運行路線は補助していない路線ということで作成していないが、コロナウイルス感染症により、事業者の経営状況は悪化したため、令和 2 年度からはそういった路線も別の形で支援している。
委員	このシートには、昨年度の 6 月と 10 月の減便の影響は反映されているか。
事務局	令和 6 年度は、令和 5 年 10 月から令和 6 年 9 月までの期間であるため、昨年度の 6 月の減便は反映されているが、10 月の減便は反映されていない。
	報告事項おわり
委員	国道 416 号の新しいバイパスができた場合、路線バスを走らせる考えはあるか。
委員	路線バスはもともと集落と集落をつないでいるので、そちらの方が乗りやすいのか、新しいルートの方が目的地まで早く着くからいいのか、地元の声を聞きながら考えていきたい。
委員	地元で意見をまとめていきたい。
委員	運転士不足ということで、全国のニュースをみていると、自動運転などもある。福井市でも考えていくのか気になっている。
委員	減便した路線の復活は今後あるのか。

事務局	今年度、人員不足が改善されて、一部復便が行われた。今後も人員不足が改善されれば、復便もあるのではないかと思う。最適化事業の中でも人的資源についても考えていきたい。
委員	<p>運転士の待遇改善をやっていかなければいけない。その原資として、運賃の値上げをしていかなければならない。</p> <p>すまいるバスの運賃は長年100円だが、100円でいいのか、この時代に合っているのかの議論をお願いしたい。</p> <p>その他 (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>